

エコプロ2024×環境省 みどりMAP

～デコ活で地球温暖化に立ち向かうニッポンの脱炭素最前線～

● 今年のエコプロ環境省ブースのテーマは『デコ活』

デコ活とは、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向け、2022年10月に発足した国民のみなさまの行動変容・ライフスタイル転換を強力に後押しするための新しい国民運動です。



未来を守るために私たちに今すぐできること

- 「デコ活」とは、二酸化炭素(CO₂)を減らす(DE) 脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉です

デコ活アクション まずはここから

- デ 電気も省エネ 断熱住宅
- コ こだわる楽しさ エコグッズ
- カ 感謝の心 食べ残しそれぞれ
- ツ つながるオフィス テレワーク

みんなで実践！デコ活アクション
楽しくエコなライフスタイルを始めよう！

| | |
|---|--------------------------------|
| 衣 | クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッショնに取り組む |
| 住 | ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する |
| 食 | 地元産の旬の食材を積極的に選ぶ |
| 移 | できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する |
| 買 | はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う |
| 住 | 宅配便は一度で受け取る |

ここに記載されているものに限らず脱炭素に繋がる行動はすべてデコ活アクションです

デコ活クイズ ブースを回って考えてみよう！

Q1

デコ活のロゴマークは何をイメージしているでしょうか？

- 蝶
- たまご
- めがね

Q2

「節水」を実践すると、年にいくら節約することができるでしょうか？

- 1,600円
- 6,000円
- 16,000円

Q3

デコ活生みの親は何人いるでしょうか？

- 1人
- 5人
- 11人

新しいクイズを掲載中!
答えはWEBで!



デコ活の
詳細はコチラ
→



環境省
Ministry of the Environment

ブースMAP

コンセプトタワーでは、環境省の取組の全体像を見ることができます。

このルートで回るともっとデコ活が分かる！

まずは
コンセプトタワーで
デコ活の全体像
を知る

デコ活制覇ルート 次にデコ活の7分野を順に回る
移 > 住 > 基盤 > 衣 > 食 > 職 でまわって
みよう！
MAPから興味のある分野
を見つけて行ってみる

質問などは
近くのスタッフに
お声がけください
ぜひ後日、
特設サイトも
チェックしてみて
ください。



基盤

脱炭素社会の
実現に資する
技術開発

住

[外回り] 住宅の省エネ化・再エネ電力導入
[内回り] エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水等)

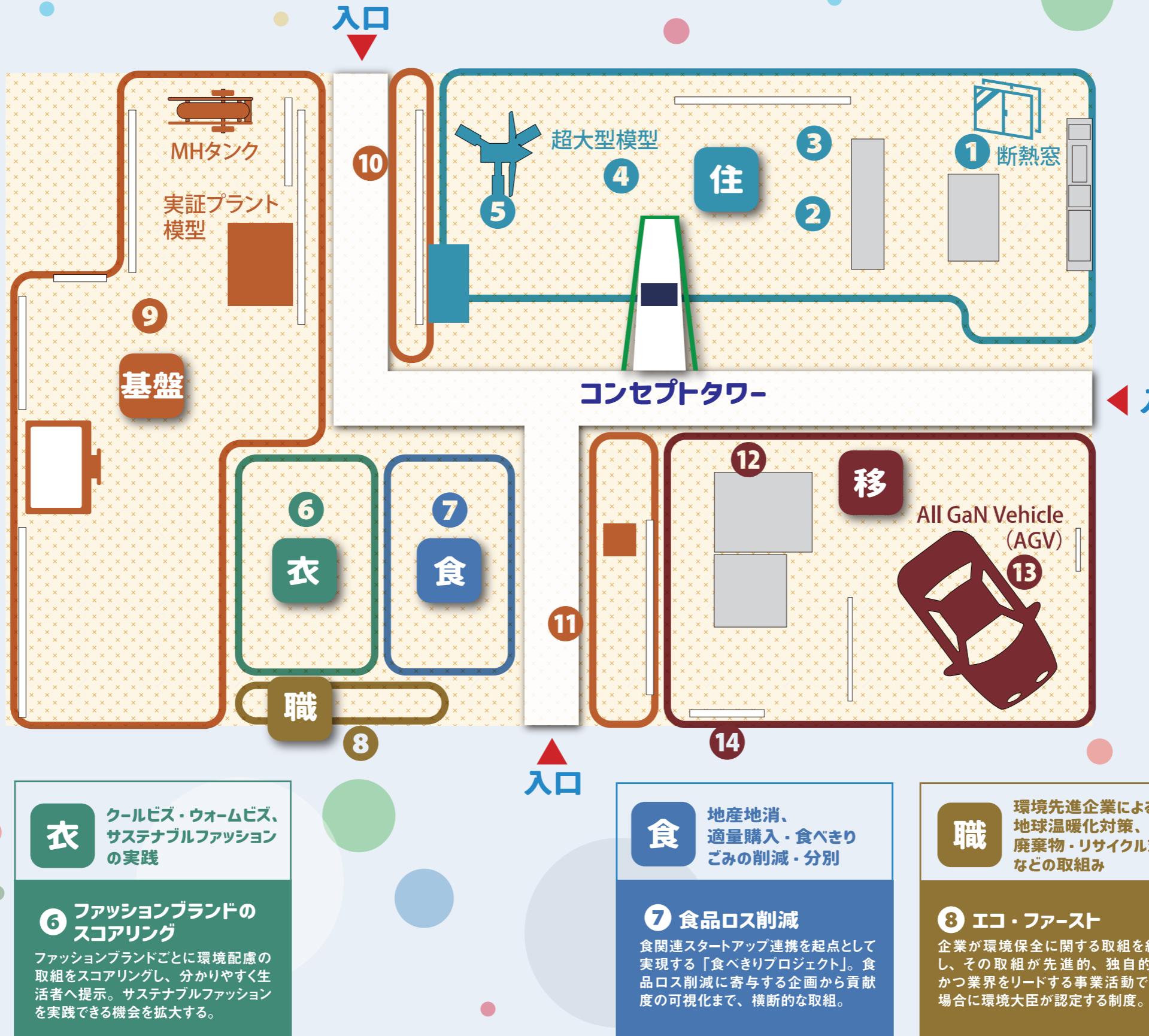
① 断熱窓
窓の断熱性能を高めて省エネで快適な生活を!光熱費も下がって物価高対策にもなります。今なら補助金出ます。工事は最短数時間!

② 断熱リフォーム
住宅リフォームの補助金があります!天井・壁・床や窓を高性能な断熱材や断熱窓等にリフォームして、快適・お得に生活しませんか?

③ 業務用建築物の脱炭素化
脱炭素の取組の第一歩として、建築物の省エネ化から始めませんか?省エネ改修からZEB化まで、環境性能の向上を補助金を使って達成しましょう!

④ 潮流発電
潮の満ち引きの力を利用し、一年中安定した発電が見込まれる潮流発電の商用化に取組み、離島を含む地域の脱炭素化の促進を目指す。

⑤ 浮体式洋上風力発電
離島等のエネルギーの地産地消を目指す地域において、高い導入ポテンシャルを有する浮体式洋上風力発電の導入を促進し、再エネ自給率の向上を図る。



⑨ 再エネ等水素

脱炭素化に不可欠な水素を地域資源である再生可能エネルギー等から製造し、貯蔵・運搬及び利活用することで水素社会の実現を推進。

⑩ R&D

将来的な地球温暖化対策の強化につながるCO2排出削減効果の高い技術の開発・実証を強力に進め、CO2排出量の大幅な削減を実現。地域の活性化と脱炭素社会の同時達成を後押しし、脱炭素ドミノを誘引。

⑪ CCUS

発電所や工場などの排気ガスに含まれるCO2を分離・回収し、資源として有効利用する技術(CCUS)、または地下に貯留する技術(CCS)の検討・実証。

移

電気自動車(EV)等の活用や革新的な部材や素材からなる製品

⑫ CNF

木材から化学的・機械的処理により取り出したナノサイズの繊維状物質。軽さ、強度、耐久性など様々な点で、環境負荷が少ない植物由来の次世代素材。

⑬ GaN

半導体材料として一般的に用いられるシリコン(Si)と比較して、エネルギー損失が少なく、民生や業務、運輸部門を中心とした幅広い分野への適用及び省エネ効果が見込まれる。

⑭ ゼロカーボン・ドライブ

再エネ電力とEV等を組合せたドライブ中のCO2排出量をゼロにする取組と、エコドライブ等の促進に向けた行動変容に関するスキームをご紹介。